

# 中西部 ヤングサッカーニュース

— 発刊200号記念誌 —

## 新たな挑戦

(財)静岡県サッカー協会中西部支部



# 2000号記念誌

## 発刊にあたって

1988年(昭和63年)4月20日に、「ヤングサッカーニュース」第1号がサッカーを愛好する地域の法人、サッカー関係者、サッカー父母の会等の熱意で創刊された。以来2005年(平成17年)1月で2000号を刊行し17年の年月を経過した。

ここに2000号記念誌を発行できることは編集委員を始め当地域のサッカーを愛好する者の大きな喜びであり、関係各位の御理解、御協力の御陰であり、深く感謝する次第である。

ヤングサッカーニュースの編集活動を振り返ると、そこにはボランティア精神をもって毎回仕事帰りに編集会議に集まる人々がいる。いずれもサッカーが好きであった。各地区・各種別の多くの編集委員の手によって、資料集め、編集会議、校正会議が重ねられた。正に「継続は力なり」の活動であった。

1989年12月15日、「ヤングサッカーニュース」が、郵政省公認第3種郵便物認可となり、公的な新聞として認められた。1991年4月より中西部支部サッカー協会機関誌と位置づけ毎月1万部を発行し、地域の新聞として多くの愛読者に支えられ親しまれてきた。

ヤングサッカーニュースには、前述したように多くの編集委員の努力があったが、その中で、前発行責任者の故・深津敏夫氏(前中西部支部

長)、そして、2月15日にご逝去された鈴木基廣氏(島田市サッカー協会副会長)の名を忘れることはできない。

さらに、編集にあたっては、長年にわたり地域のサッカーの歴史を紐解いた「もっと知りたいサッカー」の投稿者の鈴木路子さん、編集委員の中心でカメラマンとして走り回っている橋村弘子さん、そして、記念誌編集にあたってアイデアを発揮された共立印刷の清水俊哉さんの貢献は多大である。

この記念誌を発行するにあたり、先人が築いてきた藤枝を中心とした志太平洋のサッカー文化の歴史を、「ヤングサッカーニュース」誕生以後の足跡を今一度振り返ってみたいと思う。

### 変革の時代(1988)

1988年(昭和63年)、ヤングサッカーニュースが創刊されたきっかけは、当地域のサッカー協会の活性化を図ることにあった。(第1号に主旨を掲載)

少年・中学生年代において夢のある選手が育たなかった。当時、藤枝選抜チームの選手に「将来の夢は」という質問に「日本代表になる」という選手は皆無であった。高校においては清水の壁は厚く全国大会に出場できない時代が続いた。

当時の明るい話題といえば、藤枝市役所が日本リーグ2部昇格というニュースであった。

1990年に藤枝JC（藤枝青年会議所）が伝統スポーツであるサッカーを通して藤枝を中心とする志太平洋野を活性化すべきであるという提言文を紹介された。

さらに、中西部サッカー協会の組織を機能させ活性化するため、指導者同志の会議が持たれた。そして、将来を担う子供達に魅力あるサッカー環境をつくること。清水に追いつき追い越すための方策が練られた。

そこで、「7つのスローガン」を掲げて、組織的に協会が動き出した。

- ・一つ目は、選手の強化・育成としてトレセンの実施
- ・二つ目は、指導者の育成とコーチングスクールの実施
- ・三つ目は、子供の夢を広げる海外（韓国）遠征の実施
- ・四つ目は、中西部理事会の計画的な実施
- ・五つ目は、技術委員会の計画的な実施
- ・六つ目は、「中西ふれあいサッカーカーニバル」の実施
- ・七つ目が、サッカー新聞の発行

以上のように、中西部サッカー協会が機能的、計画的、組織的に活動するきっかけとして、「ヤングサッカーニュース」は大きなインパクトを与えた。

1990年（平成2年）、藤枝中学校が高円宮杯第2回全日本ジュニアユース大会で優勝を飾った。国立競技場にて前年度チャンピオンの読売クラブJYを延長の末3対2のスコアで破った。その日の午後9時のNHKニュースで報道されたほど藤枝中学校の優勝は脚光を浴びた。藤枝中イレブンには全日本少年サッカー大会藤枝FC準優勝の中心選手が含まれている幸運もあった。

1990年、中西部（志太・榛原）中学トレセン誕生の年である。すなわち、山田暢久（稲葉小―藤枝中―藤枝東高―浦和レッズ）選手らが一期生であった。

1992年、藤枝東高校が高円宮杯第3回全日本ユース選手権大会で読売ユースを破って22年ぶりに全国制覇を果たした。メンバーには藤枝中出身の選手が高校でも中心となって活躍した。正に小・中・高校の一貫指導体勢の成果でもあった。

### 充実の時代（1993）

1993年、日本サッカー界は大改革の年であった。すなわち、プロサッカー・Jリーグの誕生である。子供達の夢がプロサッカー選手へと広がった。

1998年日本代表がワールドカップフランス大会初出場を果たした。中西部出身の中山雅史（岡部小―岡部中―藤枝東高―筑波大―ヤマハ発動機―ジュビロ磐田）選手が日本代表のエースとして日本人初ゴールを決めた。中山選手の特徴は抜群の得点感覚に優れている事であった。

名波浩（西益津小―西益津中―清水商高―順天堂大―ジュビロ磐田）選手は左足キックの正確さ・ボールコントロールの自在性、さらにサッカーに必要な視野の広さやゲーム戦術を身につけ司令塔として活躍した。

2002年日韓ワールドカップで、中山選手が再び日本代表として出場し、決勝トーナメント進出の原動力となった。日本のサッカー史に残る快挙であった。

2004年、ドイツワールドカップアジア地区予選では山田暢久選手がジーコジャパンのDFとしてオマーン戦に出場した。ドリブル、ボールコントロール、キック等非凡なテクニクを身に付けていた。

2004年のJリーグでは、長谷部誠（青島東小―青島中―藤枝東高―浦和レッズ）選手がサッカー雑誌の表紙に抜てきされるなど脚光を浴びる活躍をした。長谷部選手は小・中学生時代は、県選抜に名を連ねたことはなかったが、技術・戦術面に優れていた。高校3年生で素質が開花しプロスカウトの目に止まった。プロ選手になってさらなる努力を重ねチームの司令塔に成長した。3年目の昨年、Jリーグ・ナビスコカップで23歳以下の選手に贈られるニューヒーロー賞を受賞した。さらに、20歳の若さでJリーグベストイレブン賞を受賞した。サッカーに必要なメンタル面にも強く日本代表に近い選手としてもっとも期待される選手である。

その他に、成岡翔（六合小―EWS―藤枝東高―ジュビロ磐田）・大井健太郎（高洲南小―ACM―藤枝東高―ジュビロ磐田）選手らも、こどもたちに夢や希望を与える期待の選手である。

2003～4年度全国高校サッカー選手権静岡県予選において藤枝東高校が連覇した。特に2004年度全国高校サッカー選手権3回戦で、高校の雄、国見高校を後一步まで追いつめPK戦で敗退したが藤枝東高校の健闘が光った。また、毎年のように、Jリーガーが育ち、地域外から

入学してくる選手が増加してきた。

女子サッカーでは、榛原高校、藤枝西高校、藤枝順心高校が全国大会へ出場し、中西地域がレベルアップした。

2002年、サッカー関係者にとつての長年の夢であった、藤枝総合運動公園サッカー場が新設された。この年、ワールドカップ出場のセネガル代表がキャンプを張った。2003年に国体成年の部が、2004年には全国自治体サッカーなど国内の大規模な大会が藤枝総合運動公園で開かれた。また、国際大会のU-17世界選手権アジア地区予選も開催されるなど、地域の活性化において成果を上げてきた。サッカー協会や自治体との連携が大きくなった。これからは協会と行政が融合し、さらなる発展が大切である。

むすびに、「ヤングサッカーニュース」が地域に根ざしたサッカー文化を継承し、誇りや自慢を後世に伝えるための新聞としてまた、こども達の夢の実現と健全育成のために「新たな挑戦」をスローガンに、皆様方に貢献できる新聞づくりを目指していきたい。

皆様方の御支援をお願いします。

2005年3月吉日

200号記念誌発行責任者

滝本義三郎



# ヤングサッカーニュース

## 第200号発行を祝して



(財)静岡県サッカー協会

会長 岡野 光喜

このたび、「ヤングサッカーニュース」が第200号の発行を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。また、これまで編集に携わってこられた関係者皆様のご尽力に心からの敬意を表するものであります。

(財)静岡県サッカー協会は、各支部のご協力のもと進められており、チームと選手の登録、審判員や指導者の養成、また各種大会の開催などさまざまな活動のなかで「ヤングサッカーニュース」には、それらに関するお知らせや大会結果など多くの情報をご掲載頂いております。

「ヤングサッカーニュース」が配布されている中西部地域は県内有数のサッカーどころであり、地元のサッカー愛好家の皆様にも身近な情報誌として大変喜ばれていることと思います。中西部地域ではこれまで数多くの県大会、東海大会、そして全国大会が開催されてきました。このように恵まれた環境で育った子供たちの中から多数のJリーガーが輩出され活躍しているのも不思議ではありません。

これからもレベルの高い試合が開催され、多くのJリーガーが、そして海外で活躍するプレーヤーが育ち「ヤングサッカーニュース」の紙面を華やかに彩って頂きたいと念願しております。

現在、日本サッカー界は2006年ドイツワールドカップ出場に向けて邁進していますが、日本代表チームの活躍を願うとともに「ヤングサッカーニュース」が、これからも地域に密着した情報誌として500号、1000号とご発展されることを祈念してお祝いの言葉といたします。

# お祝 い



(財)静岡県サッカー協会

専務理事 桑原 勝義

日頃は(財)静岡県サッカー協会の運営にご理解とご協力を賜わり心から厚くお礼申し上げます。

このたびはヤングサッカーニュースが昭和63年の創刊から17年間の年月を経て200号の発刊を迎え心よりお祝い申し上げます。平成の年号そのものがヤングサッカーニュースの歴史であり、長きに亘り編集に携わった関係者の皆様の献身的なご尽力に心より敬意を表します。

今年で86年目になります県サッカー協会の歴史は中西部支部の歴史と言っても過言ではありません。昭和20年代に元藤枝市長の山口森三氏(県サッカー協会第7代会長)が天皇杯全日本サッカー選手権や大学の総理大臣杯等、全国大会を誘致し始めました。そして昭和32年に藤枝市で静岡国体のサッカー競技が開催され、少年男子で地元藤枝東高校が、成年男子で志太クラブが共に初優勝を飾り、“サッカーのまち藤枝”を大いにアピールしました。その結果、静岡県は全国有数のサッカーどこ

ろとして、埼玉県、広島県とならんでサッカー御三家と呼ばれるようになりしました。

現在、中西部支部には7609名の選手と217のチームがサッカー協会に登録されており、キッズ(幼児)からシニアまで老若男女がボールを蹴りサッカーを楽しんでいます。また過去から現在に至るまで多くの日本代表、Jリーガーを輩出しております。そんな中、ヤングサッカーニュースが中西部支部で果たす役割は今後もますます重要になって参ります。

これからもサッカーを愛する多くの皆様にタイムリーな情報の発信と編集に携わる皆様のなご一層のご尽力をお願い申し上げ、中西部支部の更なる発展をお祈り申し上げます。

# 「ヤングサッカーニュース」

## 2000号達成を祝す



(財)静岡県サッカー協会中西部支部

会長 萩原 昌明

「ヤングサッカーニュース」2000号達成おめでとうございます。

17年間の長きにわたり創刊当時の理念と情熱を持ち続けられてきた編集スタッフをはじめ関係者の方々に心から敬意を表します。「継続は力なり」といいますが、「ヤングサッカーニュース」が中西部サッカー界を支える強力な事業になっていることは疑いのない事実です。

17年前の1988年、当時私は吉原商業に勤務していましたが、サッカー部の新設を希望する生徒のためにグラウンドをどのようにして確保するか、頭を悩ましたものでした。1971・2年頃、東高を指導しておられた長池実先生が指導者養成のために浜松に1年間、続いて沼津に1年間、毎週月曜日の夜通われていました。クラマーのコーチングスクールから帰られたころでした。このような活動で、県東部にも指導者が増え、サッカーを楽しむ子供たちが増えて、その波が高校の部活動にまで及んできたのがこのころでした。

しかし、藤枝を中心とする中西部ではすでにその段階を過ぎて、地域のサッカーの試合結果などを情報として広くサッカー愛好者に伝える「ヤングサッカーニュース」が創刊されました。その先見性と先進性には全く驚かされます。

サッカーは、今、選手中心のスポーツから、選手と観衆とが分化したスポーツへと急激に変化しています。ただし、この中西部地区では既にサッカーはそのようなメジャーなスポーツになっていて、一般的な状況からは大きく抜け出しています。緑に覆われたピッチと整備された観客席をもつサッカー場はそのシンボルです。ここでは選手の強化と観客層の増大が課題になってきます。そして、ソフトの面では選手の活動状況と観衆の関心とを結ぶ情報手段の拡充が課題になってきます。中西部の歴史を確実に刻んできた「ヤングサッカーニュース」がこれからも果たすべき役割はますます大きいと思います。



## 「2000号に寄せる」



(財)静岡県サッカー協会中西部支部

支部長 鎌田 昌治

(財)日本サッカー協会の行動宣言の趣旨に、「世界でいちばん愛されているサッカーを、日本でもっともっと盛んにして、アジアと世界に友情のパスをつないでいこう。」というものがある。

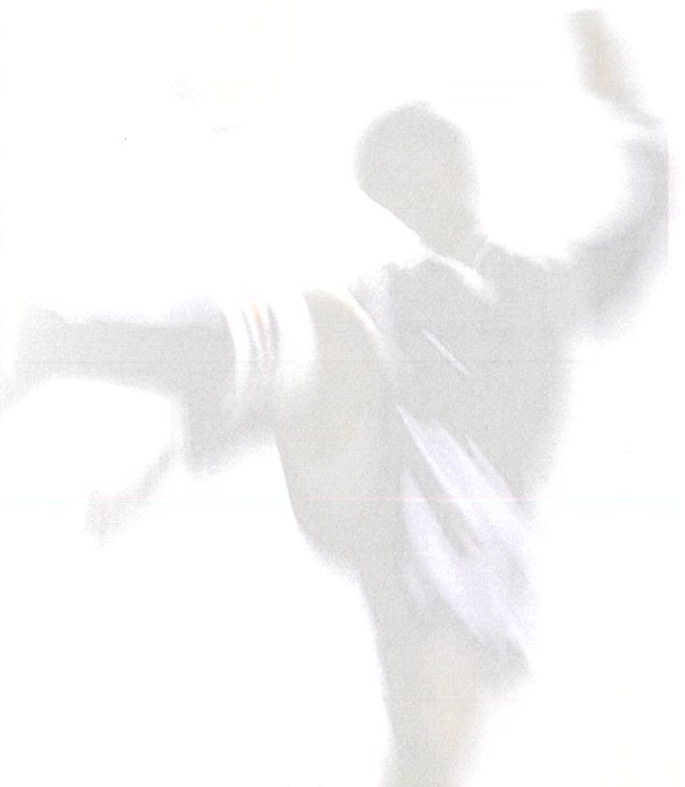
(財)静岡県サッカー協会中西部支部の2004年度の重点目標には、「指導者の育成と資質向上」「普及・強化」「国際・全国大会の成功」をあげた。地域住民にサッカーへの関心をより高め、生涯スポーツとしてのサッカーの普及とサッカー文化の樹立をはかるために、このような目標を掲げた。指導者をはじめ、サッカーに携わる全ての方々の方々の努力と協力により、極めて順調に活動がなされていることに、心より感謝をしたいと思います。

さて、ヤングサッカーニュースも1988年4月に発刊され、2000号を発行するに至りました。その間、滝本編集委員長をはじめ、多くの編集委員の方々により、試行錯誤をしながらも、常に新鮮な感覚と先見

的な発想を持ち、毎月の新聞づくりを行ってきました。

支部協会が月刊紙として発行している例は、県内はもちろん、全国的にも珍しいことだと思います。

このヤングサッカーニュースが、当地域によりサッカーが根付き、文化として樹立されていくことに、少しでも貢献できればと思っています。そして、将来的には、アジアの日本ではなく、世界の日本として「ワールドカップ日本優勝!!」の記事を載せたいと思っています。今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



# 「ヤングサッカーニュース」

## 2000号記念誌発行にあたり



藤枝市サッカー協会  
会長 八木 敏夫

「ヤングサッカーニュース」発刊  
2000号おめでとうございます。

志太、榛原地域のサッカー情報紙  
として、月1回の発刊がすでに20  
0回を越えましたが、この間の滝本  
さんを主体に編集委員の皆様のご苦  
労とご努力に対し心より感謝申し上  
げます。

この間、日本のサッカーは大きく  
変化、進歩致しました。Jリーグの  
発足、日韓共催ワールドカップ開催、  
等々により、一流の試合、又世界の  
トップレベルの試合を直接あるいは  
テレビを通じて観戦出来る機会が多  
くなり、プレーヤーには大変参考に  
なると共に、大きな夢を描き、高い  
目標を持って、プレーをするように  
なって来ました。こうした時に、地  
域の情報を定期的に詳細に多くの  
人々に提供してきた「ヤングサッカ

ーニュース」は、地域の貴重なサッ  
カー情報紙となっています。

毎月15日発刊の為に、毎週各地  
区で多くの活動が展開されて、様子  
を掲載する為の取材活動は大変なご  
苦労と思われれます。又、各種別の予  
定掲載により多くの住民、ファンが  
観戦、応援して下さいと思っています。

サッカーのまち藤枝を中心とした  
志太、榛原地域のサッカーの歴史は  
古く、静岡県のサッカーとなり、日  
本のサッカーに多大な貢献をしてき  
ました。多くのJリーガー、指導者  
を輩出した地域です。多くの人々と  
出会い交流出来ることは、この地域  
でサッカーに関われたことによるも  
ので、ありがたく思っております。  
今後も当地域のサッカーの発展の  
為「ヤングサッカーニュース」のさ  
らなる継続、充実により地域の活性  
化が期待出来るものと思われれます。  
編集委員のご努力に深く感謝申し  
上げると共に今後のご健勝、ご活躍  
をご期待致します。



藤枝市サッカー協会  
理事長 臼井 郁夫

ヤングサッカーニュースが創刊さ  
れまして17年が経過し、2000号の  
発刊を迎えるにあたり関係者の皆様  
のご努力に深く感謝申し上げます。共  
に、心よりお慶び申し上げます。

創刊当時を思い出しますと、私も  
何度か共立印刷さんに足を運び記事  
の校正など行った事を懐かしく思い  
出します。当時私は、中西部サッカ  
ー協会の審判委員長をおおせつかっ  
ていたと思います。まだ県協会も法  
人化されておらず、審判員の数も少  
なく紙面に講習会の案内を掲載させ  
て頂き、現在の登録数に至ったと深  
く感謝申し上げます。その間、4級の  
審判取得の講習会を榛原、島田、焼  
津、藤枝と講師が少ないため巡回さ  
せて頂き、多くのサッカー関係者と  
出逢うことが出来ました。これは私  
にとりまして、今現在も大きな財産

として残っています。

サッカーというスポーツは、フェ  
アプレーの精神を尊び味方の選手は  
勿論ですが、相手選手や審判員への  
敬意を忘れてはならないのが基本で  
す。Jリーグの1000年構想も10分  
の1と始まったばかりです。藤枝市  
サッカー協会においてもこれまで以  
上の協力を行って参る所存です。こ  
れからも益々サッカーを愛する仲間  
を紙面により増やして頂き、色々な  
情報をより多くの方に提供し、末永  
く発行し続けて頂きますよう、心よ  
りご祈念申し上げます。ご挨拶とさ  
せて頂きます。

## ヤングサッカーニュース

### 2000号記念誌の発刊に寄せて



焼津市サッカー協会  
会長 深津 三郎

今回2000号が発刊されるに当たり、第1回より責任者として本紙のために絶大なるご尽力を全うされた滝本君と編集委員の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。サッカーを愛し自らが下手上手を問わずゲームをする者にとって、本当に周辺の様々な状況を把握するには、ヤングサッカーニュースは恰好のニュースであったと思います。今後この様な意味合いの基、3000号発刊を目指して編集委員の皆様には是非頑張ってください。様々お願いをする次第です。

小学校6年の夏より始めたサッカー、当時はまだ蹴球と言っていました。が、好きなだけで技術的にも戦術的にも自分も充分承知している下手くそ、しかし懲りることなくよくも60年近くやって来たものだと思ってしまうほどだ。熟々思うにこれはサッカーを一緒にやってくれた素晴らしい多くの先輩、同輩、後輩の皆様の多大なお陰だと思ふ。感謝を申し上げる次第です。

今でも又今後も間違いなく私の日常生活、人生の中よりサッカーを除くことは不可能だと思ふ。数えきれない苦しい練習、ゲームをやる度に身心共に成長し逞しくなった部分。自分の体の中でいつも支えていてくれる、本当にありがたいことである。今の様に一人一個ボール所持など到底考えられない時代、その当時の練習を思いだすと懐かしい限りだ。恵まれた指導者、施設環境の中でサッカーをやる子供達に一言呈したい。練習、試合いづれにせよ、素直で真面目にこの様な好環境の中でサッカーが出来ることに感謝をすることを忘れることがなければ、途中で挫けたり諦めたりしないと思ふ。

サッカーだけでなく勉強にも文武両道精進し頑張つてこの地域の将来に大きく貢献してくれることを期待したい。選手諸君栄光を目指せ。

終りに中西部の益々の発展を祈念し挨拶いたします。

## 2000号によせて

### 「ワールドカップ選手をめざして」



焼津市サッカー協会  
理事長 鈴木 正和

ヤングサッカーニュース2000号発刊達成おめでとうございます。創刊より編集責任者を務めます滝本先生の熱意、並びに関係の皆様のご苦勞に心より感謝申し上げます。

「よみがえれ、中西部サッカー」を合言葉に、サッカーを通して中西部地域の活性化、サッカー協会の組織強化と共に、特に地域の子供達に、「サッカー王国静岡」を担う、やがて日本を代表し、世界に通ずる選手にと、ヤングサッカーマンにいつも夢を与え続けた本紙の役割は大きいと私は思います。

良い例が、確か89年、最初の新年号表紙は、アジアカップ日本代表で当時筑波大学の、中山雅史選手（初代表かな）の記事でした。この青年が94年アメリカワールドカップ予選、ドーハの悲劇を体験し、98年FIFAワールドカップフランス大会には、念願の初出場を勝ち取ってくれました。本大会では、No.10の名波浩選手共々活躍され、6月26日、ジャマイカ戦（リヨン）で日本人W杯初ゴールを記録しました。試合を観戦した私もあのゴールには感動しました。二人の活躍はこの地域の子供達に大きな夢を与えてくれました。

そして2005年新年号主役はこのヤングサッカーニュースで中学生時代から注目された（育った）山田暢久選手。2006年ドイツワールドカップのピッチに彼が立つこと、ヤングサッカーニュースが3000号に向けて愛読されることを願っております。

# ”祝“ 2000号



島田市サッカー協会  
会長 志水 義隆

ヤングサッカーニュース2000号  
達成おめでとうございます。

17年間の長期に亘り、静岡県中西部地区のサッカー界を微細に且つ冷静に見つめてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。特に編集委員の役員の人達の努力には、ただ頭のおさがる思いです。

思い出してみますと17年前の創刊当時は、島五小サッカースポーツ少年団が結団して丸二年目のことで、当時私も指導者の一員として、毎日グラウンドで子供達の将来を期待し乍ら活動していました。

当時、少年団の代表をされていた岩倉雅行氏がヤングサッカーニュースを運動場で配られ、それを読み乍ら島五小の子供達もこの紙面に載るようになればと願ったことを思い出されます。

その後、島田市からも優秀なチームや選手が輩出し紙面をにぎわしてくれました。特に私は少年団関係出身ということでNTT杯のことが気になります。

藤枝は勝つてあたりまえと思っているの、それほどニュースバリューはありませんが、数年前に榛原川崎が準優勝した時には驚きました。本当におめでとうございました。我が島五小サッカースポーツ少年団も昨年度は待望の県大会初出場を果し結団17年目で念願がかないました。その記事の載っているヤングサッカーニュースの紙面を何度も読み返したことを昨日のこのように想い出されます。

おわりに静岡県サッカー協会中西部支部のますますの繁栄とヤングサッカーニュースのますますの活躍を期待したいと思います。

# ヤングサッカーニュース2000号に寄せて



島田市サッカー協会  
理事長 鈴木 民男

ヤングサッカーニュース2000号  
達成おめでとうございます。

「継続は力なり」と言いますが、創刊より責任者として編集に携わってこられた滝本義三郎様はじめ編集委員の皆様、ヤングサッカーニュースを通して情報を発信し、中西部サッカーを隆盛にしようとの情熱、努力が2000号達成に至ったわけです。

第1号(1988年4月)〜1000号(1996年9月)までの間に日本サッカー界はプロリーグ(Jリーグ)を創設して世界のサッカー先進国の仲間入りをし、サッカー選手を目指す子供たちに夢と希望を与えてくれるようになりました。又、山田暢久選手(浦和レッズ)の小・中・高校時代の活躍を称える記事が何度も掲載され、現在の活躍ぶりを予感

させられるものが伺えます。

第101号(1996年10月)〜2000号(2005年1月)の間は日・韓のW杯共催で日本国内はもとより世界中を感動と興奮の渦に巻き込んだことも鮮明に記憶しており、藤枝市がセネガルチームのキャンプ地となったのも歴史に刻まれることです。又、静岡県体が開催され藤枝市で成年の部の大会が実施されました。

さて、今後、各自自治体の合併により島田市・金谷町が「新島田市」、相良町・榛原町が「牧之原市」となり中西部のサッカー協会組織も改編されるとおもわれますが、島田は中西部地区の中でもサッカー後進地域といわれておりますが、播いたサッカーの種がようやく芽を吹き始めたところですので。大事に育て、これが木となり林となり、やがては森となつて、中西部地区のサッカーの発展に貢献し、ヤングサッカーニュースに活躍の記事がたくさん掲載されるよう、新しく発足する島田市サッカー協会関係者が力を合わせてがんばります。よろしくお願ひします。



榛原郡サッカー協会  
会長 西原 茂樹

ヤングサッカーニュース2000号  
達成おめでとございます。

榛原郡の会長を拜命して10年近く  
になります。毎月送られてくるヤ  
ングサッカーニュースを楽しみに見  
ながら、それぞれがんばっている皆  
さんに声援を送っています。

皆さんが、この文章を見るころは  
ドイツW杯の最終予選である北朝鮮  
との試合は終わっています。日本の  
勝利を確信していますが、東アジア情  
勢はこれから心配の種が多いでしょ  
う。昨年の中国の試合の時も、日本  
の国旗が焼かれたり、大ブーイング  
があったり、中国への不信感を持っ  
た方も多かったと思います。第二次  
世界大戦で中国の方々に迷惑をかけ  
たのは事実ですが、1990年以降  
強化された中国の日本敵視・反日教

育政策によって、若者の間に強い反  
日感情が高まったのは残念です。北  
朝鮮の非道な拉致問題は許せませ  
んが、北朝鮮はさらに攻撃的になっ  
てくるでしょう。韓国にしても韓流ブ  
ームといいながら反日感情は強まっ  
てきています。

スポーツと政治は別だと言いま  
す。しかし、モスクワオリンピック  
は冷戦構造のもとアメリカや日本な  
ど自由主義体制の国々はボイコット  
しました。サッカーや体操・武術な  
どは共産国家では、国威発揚でほと  
んど軍隊関係者がスパルタ式で訓練  
練習に励んでいます。勝てばたくさ  
んの褒美がもらえて、負ければきつ  
と厳しい罰があるのでしよう。  
こんな背景を持ちながらも、スポ  
ーツ特にボールひとつで交流し心が  
通じ合えるサッカーはそれらの障壁  
さえも乗り越えるでしょう。若い皆  
さんの世界へのチャレンジに期待し  
これからも応援します。



榛原郡サッカー協会  
理事長 遠勢 栄太郎

ヤングサッカーニュース発刊20  
0号おめでとございます。

17年間もの永きに編集に携わった  
多くの関係者のみなさま大変ご苦勞  
さまでした。

第1号は藤枝市役所の日本リーグ  
に昇格の記事からでした。今ではJ  
リーグがトップリーグですが、当時  
は日本リーグに昇格することは夢の  
ような出来事であり、第1号に飾る  
ことができ藤枝や中西部のサッカー  
界に追い風を感じました。

第2号では代表を務める榛南クラ  
ブが県社会人1部リーグで矢崎計器  
チームとの対戦結果が載ってしまし  
た。17年経った現在では矢崎計器チ  
ームは東海リーグで活躍し、かたや、  
榛南クラブは地元のサッカーを愛す  
る仲間とともに榛原の地域リーグに  
参加しています。クラブチームの継

続の難しさを知る一方で、17年間に  
Jリーグが出来てプロ、セミプロ化  
が進んで、DREAMのような日本  
サッカーが実現しようとしていま  
す。200号までに進化の記録が歴  
史のひとつとして記録されていま  
す。17年前の私の友人たちも榛原の  
地元で普及に尽力し、少年少女の指導  
者になったり、トレセンの指導者に  
なりと、新しい夢に向かって進んで  
います。今後もヤングサッカーニュ  
ースに夢の結果が記録されることを  
願っています。JFA2005宣言  
DREAM夢があるから強くなる。  
榛原に芝生のグラウンドがないので、  
今の子供たちにもっと多くの夢を与  
えるためにも、協会として役員関係  
者と協力して榛原の地に芝生のグラ  
ウンドを作ってもらう活動を実現し、  
榛原も夢を追いつけます。そして、  
ヤングサッカーニュースに夢の結果  
が載ることを期待していきたいと思  
います。

# 「ヤングサッカーニュース」

## 2000号記念に寄せて

Jリーガー ジュビロ磐田

中山 雅史

この度は、2000号達成誠におめでとうございます。

岡部町で育った私の原点は、全てここ静岡県中西部に詰まっていると言っても過言ではありません。挨拶に始まり、規律・根性・思いやりに至るまで選手として以上に人間としての生き方すべてをサッカーから学んできました。ボールを蹴りながら後輩・先輩や友達とコミュニケーションというパスを交換してきた毎日の生活から、多くの感動を今もなお得ることができています。

小学校4年から中学、高校と集団生活の中では仲間を信頼することや、目標に向かって努力する素晴らしさを実感してきました。

創刊17年という年月のなかで多くの苦労や努力があったことと思いますが、それはヤングサッカーニュースを愛する皆さんへ伝わっているはずです。

「継続は力なり」この言葉は僕自身の心にも強く打たれるものがあります。毎日毎日の積み重ねが歴史を作り、自分のそして皆様のエネルギーとして生まれてくるのです。今までここ静岡県で培ってきたサッカーという楽しさを胸に、これからも自分らしい攻撃的な姿勢でゴールネットを揺らしていきたいと考えています。

今後も引き続き、ジュビロ磐田・中山雅史へ熱い応援をどうぞよろしくお願いいたします。

ヤングサッカーニュースがこれからも、3000号、5000号、10000号と続いていきますように心より願っています。

### プロフィール

生年月日 1967年9月23日

岡部小—岡部中—藤枝東高—筑波大

日本代表出場試合数/得点 53/21

日本代表として出場した主な国際大会

1992年 アジアカップ (日本・広島)

1998年 FIFAワールドカップ (フランス)

2001年 コンフェデレーションズカップ (韓国/日本)

2002年 FIFAワールドカップ (韓国/日本)

個人タイトル

1997年 チャンピオンシップMVP

※ Jリーグ ベストイレブン

1998年4月 AFC月間最優秀選手賞 (Player of the Month)

1998年 J1 1stステージ優秀選手

※ Jリーグ 最優秀選手賞・得点王・ベストイレブン

1999年 チャンピオンシップMVP

※ AFC年間ベストイレブン (AFC All Stars)

2000年 Jリーグ 得点王・ベストイレブン

2002年 Jリーグ ベストイレブン



Photo/Y.F.C.JUBILO

# 「ヤングサッカーニュース」

## 2000号記念に寄せて

Jリーガー 浦和レッドダイヤモンズ

長谷部 誠

「ヤングサッカーニュース」2000号発行おめでとうございます。

1988年4月に創刊され今に続くという功績は編集委員の方々をはじめ、多くの理解と協力があつたからこそだと思っています。

僕自身も小学生の頃から拝見させてもらっていましたが、自分達のチームが紹介されたりすると、とてもうれしくチームメイトと喜びあつたりした事を思い出します。

こうした地元の活性化や青少年の育成を目的とした新聞があるのも「サッカーのまち藤枝」を中心に志太榛原地区ならではのものだと思います。

中西部地区の少年達もそういった恵まれた環境や指導者のもとでプレーできている事を幸せに、そして、誇りに思つて頑張つてほしいと思います。

僕自身もいよいよJリーグが始まり今年は去年取り逃したものを取れるように頑張つていきますので、浦和は少し遠いですが応援して頂けたらうれしいです。



©URAWA REDS

### プロフィール

生年月日 1984年1月18日

青島東小—青島中—藤枝東高

2004年 Jリーグ ベストイレブン

ヤマザキ・ナビスコカップ ニューヒーロー賞

## 「鈴木路子レポート」

「もっと知りたいサッカー」を書き続けて



ヤングサッカーニュース

編集委員 鈴木 路子

中西部ヤングサッカーニュース200号おめでとございます。思えば、ヤングサッカーニュースが刊行し始めて間もない平成2年、私と中西部サッカーとの縁が始まりました。当時、私は藤枝市郷土博物館で学芸員の仕事をしており、企画展「サッカーのまち 藤枝」の担当を任されていた。静岡県のサッカーの流れが静岡、清水に移りつつあった時代で、全国に君臨していた藤枝東高を知っている最後の世代である私は、寂しさと悔しさを感じていました。藤枝のサッカーが静岡サッカーの原点であることだけはどうしても譲りたくない。藤枝のサッカーはまの歴史の一部であり、文化となっていることを忘れさせたくない。そんな思いを強く持っていました。

誤解が無いように言っておきたいのは、歴史としてのサッカーを伝えるということとは、かつて強かった、と昔のことを羨んだり偲ぶことではありません。藤枝のサッカーが歩んできた事実を、正確に伝え残してい

くことなのです。そのために、歴史系の博物館で、歴史が専門の学芸員が担当して展示を行う。そんなことは日本のどこでもできない、藤枝だからこそできることです。とは言え、当時の私には、サッカーにつながる人脈などほとんどありませんでした。どうやって展示資料を集めようか。誰に昔のことを聞いたらよいのだろうか…。そこで飛び込んだのが、藤枝市のサッカー協会と中西部のサッカー協会の理事会でした。理事の皆さんは驚かれたと思います。サッカーとは全く縁の無さそうな若い女性（当時は！）が、突然理事会にやってきて、展示への協力をお願いしたのですから。しかし理事の皆さんは快く受け入れて下さり、展示は3月から5月の期間中に1万人以上の来館者を集め、好評のうちに終わりました。

展示が終わってからサッカーとのつながりが続いたのは、ヤングサッカーニュースにサッカーの歴史についての連載を頼まれたからです。



「鈴村路子レポート」として、17回書かせてもらいました。世界のサッカーの起源から始まり、日本へ静岡県、藤枝と、事実に基づき正確に書き残すことに努めました。

この「鈴村路子レポート」の連載が終わると、私は一旦ヤングサッカーニュースから離れました。その後、仕事の間が学校に移り、最初の勤務地が掛川であったことから、ある方を通して、当時掛川に編集部があったサッカー情報誌『しずおかゴール』に紹介され、W杯を控え、W杯の歴史を中心にコラムの連載をするようになりました。現在、ヤングサッカーニュースの核となって、取材や編集作業を行なってくれている橋村弘子さんと知り合ったのもこの頃です。彼女は『しずおかゴール』のライターをしていて、遅筆の私の原稿を根気よく待ってくれました。

県の埋蔵文化財調査研究所の勤務を経て、中西部地区の高校勤務になったのが平成9年。生徒たちと何か話題を共有できるものはないだろうか。運動部の中でもまずサッカー部の生徒を引き入れてしまおう。競技としてのサッカーだけではなく、サッカーに関わるさまざまなことを若い選手たちに教えてあげよう。そんな思いで、再びヤングサッカーニュースに連載をさせていただくことにしました。「もつと知りたい」というタイトルは、私自身が興味を持って調べてみて面白いと感じたことを、より多くの人に伝えたいという思いからです。90回近くまで書き綴ったものを改めて読み返してみると、サッカーの歴史に関するもの、社会的、国際的なニュースとサッカーをかなり強引に結びつけたもの、自分の意見を述べたエッセイ的なもの、というように、いつの間にか多岐に渡るものになっていました。社会科を教えている身ですから、できるだけタ

イムリーに、地理や歴史、社会情勢、国際情勢の知識としても役に立つ内容になるよう心がけています。わずか648字の文章ですが、毎月のこととなると実は結構大変です。ただ、競技としてだけでなく、文化的、社会的な角度からサッカーを見てみると、これほど奥が深く、興味が尽きないスポーツは他に見当たりません。マンネリ化していないかと自問自答することはありますが、何回書いてもその都度何か新しい発見があるのです。それがサッカーだと改めて思います。

101号から200号までの間には、静岡スタジアム・エコパや藤枝総合運動公園サッカー場の建設、行事としてはW杯、静岡国体と、とりわけ大きなものがありました。こうしたビッグイベントに際し、この間に永遠のお別れをした宮崎作次氏、山口森三氏、深津敏夫氏らのことを思い出さずにはいられませんでした。この地域のサッカーを深く愛し、多大な貢献をされた諸氏の遺志を伝えていくためにも、中西部サッカーの益々の発展を願うばかりです。

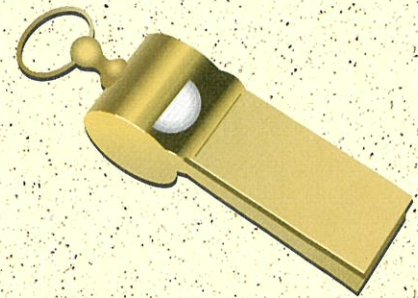


▲静岡国体より（藤枝総合運動公園サッカー場）

1997年～2005年

新年号で振り返る

中西部支部の歴史



# 小笠山に夢舞台「エコパ」

東名高速道路  
国道1号線  
至袋井 新駅 JR東海道線・新幹線 至掛川

静岡スタジアム エコパ  
アリーナ

| 主要地点   | 距離     | 所要時間    |
|--------|--------|---------|
| 東名掛川IC | 約4km   | 車 約8分   |
| 東名袋井IC | 約7km   | 車 約14分  |
| 国1バイパス | 約2.7km | 車 約5分   |
| JR掛川駅  | 約4km   | 車 約8分   |
| JR袋井駅  | 約4km   | 車 約8分   |
| JR新駅   | 約0.8km | 徒歩 約10分 |

ただし  
・アクセス道路整備済とする  
・距離は、公園の最寄り出入口までの距離  
・所要時間は、車:約30m/hr、  
徒歩:約4~5km/hrで算定

## 決定!!

# ワールドカップ

## 静岡県開催

### 2002年

発行責任者 中西部サッカー協会理事長 深津敏夫  
企画構成編集責任者 滝本義三郎  
印刷 共立印刷

写真提供: 鳥ヶ崎一徳

## 名波 浩 MF

なみひろしー72年11月28日生まれ 西益津小→西益津中→清水高→順天大→ジュビロ磐田  
西益津中3年時、主将として全国出場3位となる。清商では、1・3年時高校選手権出場。高校総体と全日本ユース選手権で2・3年と優勝。大学では1年時からレギュラーとなる。卒業後ジュビロに入団。95年8月コスタリカ戦で日本代表デビューを果たす。最近では、アジアカップのウズベキスタン戦での先制シュートが印象的だ。8月のウルフアイ戦から左のボランチとしてチームの司令塔を務める。

## 賀正

写真提供: (株)日立スポーツ

## KASHIWA Reysol 渡辺 毅 DF

わたなべたけしー72年9月10日生まれ 西益津小→西益津中→藤枝高→中央大→柏レイソル  
西益津中3年時全国大会で3位となる。藤枝時代は、全国出場はならなかったが、3年時に団体でベスト4に。中大では2年時、総理大臣杯ベスト4。大学選手権優勝。卒業後レイソルに入団。レギュラーとなり、レイソルになくはない存在となる。96年4月には日本代表候補のキャンプに参加。10月にはチュニジア代表戦で初選出されるが、ケガで断念。今後の活躍が期待される。

### 焼津中央高校 New Team, Here We Go! 藤枝東高校

| 学年 | 生徒氏名  | ポジション | 出身中学 | 学年 | 生徒氏名   | ポジション | 出身中学 |
|----|-------|-------|------|----|--------|-------|------|
| 2  | 小林 拓弘 | GK    | 岡部   | 1  | 鶴岡 浩太  | DF    | 高岡   |
| 2  | 鈴木 金秀 | GK    | 島田第二 | 1  | 仁藤 聖人  | DF    | 東益津  |
| 2  | 岡村 隼  | DF    | 大宮   | 1  | 山本 裕   | DF    | 藤枝   |
| 2  | 菅原 寛直 | DF    | 西益津  | 1  | 青柳 敬樹  | DF    | 東益津  |
| 2  | 丸山 勇  | DF    | 港    | 1  | 田村 健   | DF    | 大高   |
| 2  | 大須賀祐司 | DF    | 広橋   | 1  | 森脇 亮介  | DF    | 豊田   |
| 2  | 村田 友明 | DF    | 豊田   | 1  | 戸塚 誠   | DF    | 大村   |
| 2  | 中川 繁  | DF    | 大高   | 1  | 平野 光弘  | MF    | 岡部   |
| 2  | 塚本 剛  | DF    | 西益津  | 1  | 朝川 剛   | MF    | 大津   |
| 2  | 東塚 和明 | MF    | 青島北  | 1  | 村松 安樹  | MF    | 焼津   |
| 2  | 青島 哲也 | MF    | 青島   | 1  | 小嶋 博明  | MF    | 東益津  |
| 2  | 塚谷 勇  | MF    | 金谷   | 1  | 小澤 健人  | MF    | 豊田   |
| 2  | 伊藤 勇弘 | MF    | 金谷   | 1  | 朝比奈 誠  | MF    | 島田第二 |
| 2  | 中村 秀一 | FW    | 吉田   | 1  | 加茂 周正  | MF    | 豊田   |
| 2  | 山田 暢彦 | FW    | 西益津  | 1  | 大木 直久  | MF    | 広橋   |
| 2  | 岡井 新一 | FW    | 西益津  | 1  | 櫻井 慎太郎 | FW    | 焼津   |
| 2  | 山口 浩  | FW    | 高岡   | 1  | 鈴木 寛   | FW    | 大高   |
| 1  | 山本 優  | GK    | 大高   | 1  | 鈴木 寛   | MF    | 島田第二 |
| 1  | 宮藤 太  | GK    | 広橋   | 1  | 田中 大   | MF    | 大高   |
| 1  | 片岡 正  | DF    | 小川   | 1  | 松浦 貴徳  | MF    | 島田第二 |
| 1  | 森下 剛  | DF    | 六ヶ   | 1  | 奥山 晃史  | FW    | 六ヶ   |
| 1  | 八木 啓  | DF    | 焼津   | 1  | 野崎 尚   | FW    | カウ   |
| 1  | 浅野 大元 | DF    | 広橋   | 1  | 西山 尚向  | FW    | 岡部   |
| 1  | 井上 洋  | DF    | 藤枝   | 1  | 宮城 光   | FW    | 西益津  |

焼津中央高校サッカー部

藤枝東高校サッカー部

### 「競技力向上 ジュニア強化合宿」 参加選手

| 選手名   | 所属   |
|-------|------|
| 青嶋 晶  | 藤枝東高 |
| 佐賀 一平 | 藤枝東高 |
| 安藤 豊  | 藤枝東高 |
| 藤浦 康二 | 藤枝東高 |
| 賢果 延主 | 藤枝東高 |
| 河村 優  | 藤枝東高 |
| 石川 竜也 | 藤枝東高 |

今年度の強化は、何事も無いが、今に満足するどころか、食にこだわるといっていい。中西部の指導は、清水、野田以外にない。中西部の指導は、清水、野田以外にない。中西部の指導は、清水、野田以外にない。中西部の指導は、清水、野田以外にない。

**日本の試合日程**  
6月  
(14日) **日本**VSアルゼンチン  
会場: トゥールーズ  
  
(20日) **日本**VSクロアチア  
会場: ナント  
  
(26日) **日本**VSジャマイカ  
会場: リヨン

# 目指せ 日本代表 賀正

**1次リーグ**

A組  
ブラジル  
スコットランド  
モロッコ  
ノルウェー

B組  
イタリア  
チリ  
カメルーン  
オーストリア

C組  
フランス  
南アフリカ  
サウジアラビア  
デンマーク

D組  
スペイン  
ナイジェリア  
パラグアイ  
ブルガリア

E組  
オランダ  
ベルギー  
韓国  
メキシコ

F組  
ドイツ  
米国  
ユーゴスラビア  
イラン

G組  
ルーマニア  
コロンビア  
イングランド  
チュニジア

H組  
アルゼンチン  
日本  
ジャマイカ  
クロアチア

**渡辺 毅**  
72.9.10生まれ  
西益津小→西益津中  
藤枝東→中央大→  
柏レイソル(DF)

**中山 雅史**  
67.9.23生まれ  
岡部小→岡部中→藤  
枝東→筑波大→  
ジュビロ磐田(FW)

**名波 浩**  
72.11.28生まれ  
西益津小→西益津中  
清水商→順天大→  
ジュビロ磐田(MF)



財団法人国際サッカー協会のワールドカップの強化を図るべく、大に力をつけている。また、日本代表に選ばれる選手は、まず、国内大会で活躍し、その中で優秀な選手が選ばれる。また、日本代表に選ばれる選手は、まず、国内大会で活躍し、その中で優秀な選手が選ばれる。



第76回全国高校サッカー選手権大会  
**がんばれ 藤枝東高**

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| <b>佐賀一平</b><br>8MF 2年<br>1980.5.20生<br>168cm・62kg・O<br>西岡北小(札幌ジュニアFC)→札幌幸平中 | <b>土屋悠哉</b><br>7MF 2年<br>1980.6.18生<br>170cm・60kg・O<br>高洲南小→高洲中       | <b>増田雄也</b><br>6MF 3年<br>1979.4.2生<br>173cm・64kg・O<br>西益津小→西益津中            | <b>石川竜也</b><br>5DF 3年<br>1979.12.25生<br>177cm・64kg・AB<br>西益津小→西益津中 |
| <b>松浦寿彰</b><br>16DF 2年<br>1980.7.4生<br>172cm・60kg・AB<br>川崎小→東海大一中           | <b>小長谷太作</b><br>15FW 2年<br>1980.5.2生<br>175cm・63kg・A<br>港小→港中(EWS・FC) | <b>河村 優</b><br>14MF 2年<br>1980.12.1生<br>170cm・60kg・A<br>大井川東小→大井川中(EWS・FC) | <b>太田真嗣</b><br>13FW 2年<br>1980.10.18生<br>168cm・63kg・A<br>藤枝中央小→藤枝中 |



|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| <b>横山健二</b><br>4DF 3年<br>1979.4.29生<br>170cm・65kg・O<br>広幡小→広幡中   | <b>小沢征敏</b><br>3DF 3年<br>1979.6.16生<br>179cm・68kg・A<br>西益津小→西益津中 | <b>鷲巢延圭</b><br>2DF 2年<br>1980.4.9生<br>175cm・68kg・O<br>川原小(長田南)→長田南中 | <b>大塚智紀</b><br>1GR 2年<br>1981.1.6生<br>175cm・60kg・B<br>業梨小→業梨中  |
| <b>山本潤一</b><br>12DF 3年<br>1979.6.17生<br>181cm・70kg・A<br>宮竹小→静岡南中 | <b>藤浦康二</b><br>11FW 3年<br>1979.6.22生<br>170cm・60kg・A<br>川崎小→藤原中  | <b>青嶋 晶</b><br>10MF 3年<br>1979.5.13生<br>177cm・70kg・O<br>六合一→東海大一中   | <b>安藤 豊</b><br>9FW 3年<br>1979.7.17生<br>171cm・60kg・A<br>種葉小→藤枝中 |

|   |   |  |   |   |
|---|---|--|---|---|
| <b>山田憲司</b><br>25DF 2年<br>1980.6.5生<br>175cm・67kg・AB<br>焼津小→大村中 | <b>新聞貴文</b><br>24MF 2年<br>1980.9.17生<br>166cm・55kg・O<br>島田第三小→東海大一中 | <b>堤 大輔</b><br>23MF 1年<br>1980.6.2生<br>165cm・55kg・B<br>麻城小→東海大一中 | <b>高井進吾</b><br>22FW 1年<br>1981.8.14生<br>175cm・65kg・O<br>白羽小→東海大一中 | <b>大石知宏</b><br>21DF 1年<br>1981.6.3生<br>174cm・64kg・B<br>長田南小→城山中 |
|---|---|--|---|---|

初出場の気持ちで  
**監督 服部康雄**

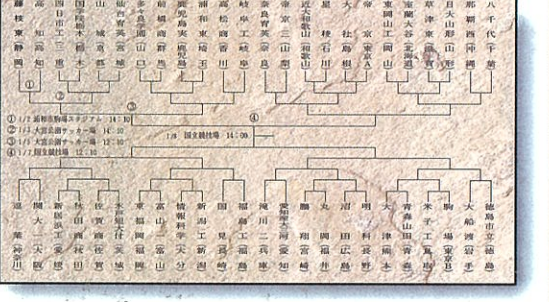
初出場の気持ちで、監督服部康雄は、選手たちに激励の言葉をかけ、試合に臨んでほしいと願っている。

**歴代優勝校 (は、藤枝東高の出場した年)**

|                    |                    |                    |                    |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 第1回(大正7年) 藤原(大阪)   | 第20回(昭和17年) 藤原(大阪) | 第39回(昭和27年) 藤原(大阪) | 第57回(昭和47年) 青木(茨城) |
| 第2回(大正8年) 藤原(大阪)   | 第21回(昭和18年) 藤原(大阪) | 第40回(昭和28年) 藤原(大阪) | 第58回(昭和48年) 青木(茨城) |
| 第3回(大正9年) 藤原(大阪)   | 第22回(昭和19年) 藤原(大阪) | 第41回(昭和29年) 藤原(大阪) | 第59回(昭和49年) 青木(茨城) |
| 第4回(大正10年) 藤原(大阪)  | 第23回(昭和20年) 藤原(大阪) | 第42回(昭和30年) 藤原(大阪) | 第60回(昭和50年) 青木(茨城) |
| 第5回(大正11年) 藤原(大阪)  | 第24回(昭和21年) 藤原(大阪) | 第43回(昭和31年) 藤原(大阪) | 第61回(昭和51年) 青木(茨城) |
| 第6回(大正12年) 藤原(大阪)  | 第25回(昭和22年) 藤原(大阪) | 第44回(昭和32年) 藤原(大阪) | 第62回(昭和52年) 青木(茨城) |
| 第7回(大正13年) 藤原(大阪)  | 第26回(昭和23年) 藤原(大阪) | 第45回(昭和33年) 藤原(大阪) | 第63回(昭和53年) 青木(茨城) |
| 第8回(大正14年) 藤原(大阪)  | 第27回(昭和24年) 藤原(大阪) | 第46回(昭和34年) 藤原(大阪) | 第64回(昭和54年) 青木(茨城) |
| 第9回(大正15年) 藤原(大阪)  | 第28回(昭和25年) 藤原(大阪) | 第47回(昭和35年) 藤原(大阪) | 第65回(昭和55年) 青木(茨城) |
| 第10回(昭和3年) 青木(茨城)  | 第29回(昭和26年) 藤原(大阪) | 第48回(昭和36年) 藤原(大阪) | 第66回(昭和56年) 青木(茨城) |
| 第11回(昭和4年) 青木(茨城)  | 第30回(昭和27年) 藤原(大阪) | 第49回(昭和37年) 藤原(大阪) | 第67回(平成2年) 青木(茨城)  |
| 第12回(昭和5年) 青木(茨城)  | 第31回(昭和28年) 藤原(大阪) | 第50回(昭和38年) 藤原(大阪) | 第68回(平成3年) 青木(茨城)  |
| 第13回(昭和6年) 青木(茨城)  | 第32回(昭和29年) 藤原(大阪) | 第51回(昭和39年) 藤原(大阪) | 第69回(平成4年) 青木(茨城)  |
| 第14回(昭和7年) 青木(茨城)  | 第33回(昭和30年) 藤原(大阪) | 第52回(昭和40年) 藤原(大阪) | 第70回(平成5年) 青木(茨城)  |
| 第15回(昭和8年) 青木(茨城)  | 第34回(昭和31年) 藤原(大阪) | 第53回(昭和41年) 藤原(大阪) | 第71回(平成6年) 青木(茨城)  |
| 第16回(昭和9年) 青木(茨城)  | 第35回(昭和32年) 藤原(大阪) | 第54回(昭和42年) 藤原(大阪) | 第72回(平成7年) 青木(茨城)  |
| 第17回(昭和10年) 青木(茨城) | 第36回(昭和33年) 藤原(大阪) | 第55回(昭和43年) 藤原(大阪) | 第73回(平成8年) 青木(茨城)  |
| 第18回(昭和11年) 青木(茨城) | 第37回(昭和34年) 藤原(大阪) | 第56回(昭和44年) 藤原(大阪) | 第74回(平成9年) 青木(茨城)  |
| 第19回(昭和12年) 青木(茨城) | 第38回(昭和35年) 藤原(大阪) | 第57回(昭和45年) 藤原(大阪) | 第75回(平成10年) 青木(茨城) |

**初戦は、1/2高知と対戦**

全国大会で、静岡と対戦する。高知は、昨年の優勝校である。



# 1999年に

# 輝け!

# 中西部 ヤングサッカーニュース

発行責任者 中西部サッカー協会理事 長 深津敏夫

企画構成編集責任者 滝本義三郎

印刷 共立印刷

1999 1



す試合に出るには、まず練習をこなさなければなりません。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

## 注目プレイヤー



石井俊也 MF

●1978・1・19生まれ ●大洲小→大洲中→静岡学園高→浦和レッズダイヤモンズ ●静岡学園時代、全国高校選手権大会で優勝を果たし、浦和レッズに練習生として入団。3年目の昨年、ボランテとしてレギュラーに定着し、浦和のリーグ戦での優勝争いに貢献。その活躍が認められ、U-21日本代表として自身初となる代表メンバーに選ばれて、アルゼンチン戦、アジア大会に出場。今年の6月に行なわれるオーストラリア予選でも代表入りを目指す。



中山 雅史 FW

●ながやま まさし ●1967・9・23生まれ ●岡部小→岡部中→藤枝東高→筑波大 ●昨年は日本が初めて出場したワールドカップで日本の唯一の得点を挙げた。また、Jリーグではキープスブックにも載った4試合連続ハットトリックを含め、Jリーグ記録となる年間最多の36得点を獲得。ベストイレブン、そしてMVPと3冠に輝いた。今年の活躍にも期待がかかる。

●1979・12・25生まれ ●西益津小→西益津中→藤枝東高→筑波大 ●高校3年の時からU-18日本代表に選ばれ、昨年はU-19日本代表の中で数少ない大学生の代表メンバーとしてアジアユース選手権に参加し、全試合スタメン出場を果たした。日本代表はアジアで準優勝し、ワールドユース選手権への出場権を獲得。4月3日からエウロで開催される世界大会での代表入り、そして世界との対戦を目指す。



石川 竜也 DF

●いしかわ たつや ●1979・12・25生まれ ●西益津小→西益津中→藤枝東高→筑波大 ●高校3年の時からU-18日本代表に選ばれ、昨年はU-19日本代表の中で数少ない大学生の代表メンバーとしてアジアユース選手権に参加し、全試合スタメン出場を果たした。日本代表はアジアで準優勝し、ワールドユース選手権への出場権を獲得。4月3日からエウロで開催される世界大会での代表入り、そして世界との対戦を目指す。



山田 暢久 DF

●やまだ たけひさ ●1975・9・10生まれ ●種小→藤枝中→藤枝東高→浦和レッズダイヤモンズ



名波 浩 MF

●なみ ひろし ●1972・11・28生まれ ●西益津小→西益津中→清水商業大→順天堂大→ジュビロ磐田



渡辺 毅 DF

●わたなべ たけし ●1972・9・10生まれ ●西益津小→西益津中→藤枝東高→中央大→柏レイソル

## 静岡県競技力向上強化選手 合宿強化練習(ジュニア合宿)参加 (12月22日~26日)

今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●内藤 啓太 ●藤枝東高校 2年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●西形 尚城 ●藤枝東高校 1年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●小野 雅俊 ●藤枝東高校 3年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●秋山 大介 ●藤枝東高校 2年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●大石 知宏 ●藤枝東高校 2年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●北川 豊 ●藤枝東高校 2年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●大石 祐也 ●岡部中学校 3年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●久保山 貴規 ●海城中学校 3年 ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●松島 寛季 ●藤枝FC FW ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●松島 千佳 ●島田アリス MF ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●小林 あずさ ●大井川サッカークラブ MF ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●松野 みどり ●島田アリス DF ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

●遠山 さゆり ●清水FC女子 MF ●今年、このジュニア合宿で、自分たちの成長を競い合おう。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。練習をこなすことで、初めて試合に出ることができるようになります。

## 第3回東海女子ユニテサッカー選手権大会(12月6日) 静岡県選抜優勝 全国大会へ出場

静岡県選抜が優勝し、全国大会へ出場した。大会は、静岡県選抜が優勝し、全国大会へ出場した。大会は、静岡県選抜が優勝し、全国大会へ出場した。大会は、静岡県選抜が優勝し、全国大会へ出場した。

# JUMP UP 2000

**中西部 ヤングサッカーニュース**

発行責任者 中西部サッカー協会理事 深津敬夫  
企画構成編集責任者 清水義三郎  
印刷 共立印刷

2000 1



**久保山由清**  
MF 清水エスハルス  
(焼津市出身)



**中山 雅史**  
FW ジュビロ磐田  
(岡部町出身)



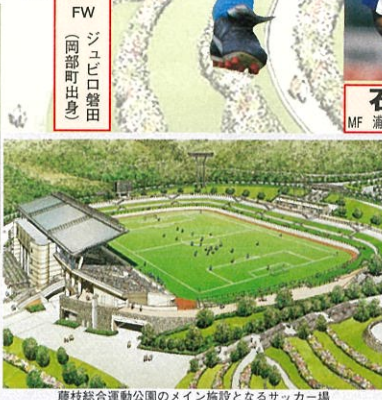
**渡辺 毅** DF 柏レイソル  
(藤枝市出身)



**石井 俊也**  
MF 湘和レッドダイヤモンド (藤枝市出身)



**山田 暢久**  
DF 湘和レッドダイヤモンド (藤枝市出身)



## ~21世紀への創造~ 藤枝総合運動公園

生活の中のスポーツ・レクリエーションの場。また市民の憩いの場に。藤枝市東部地区内地区に整備される藤枝総合運動公園は「歴史」・「文化」・「自然」をキーワードに、自然環境を大切にし、快適なスポーツ・レクリエーションの場を創出する。公園の北東に位置し、面積は約40ヘクタール。明石川でサッカーカレッジ、陸上競技場、多目的広場を整備し、平成15年完成を予定している。

公園内には、平成15年の藤枝市立公園として、サッカーカレッジ、陸上競技場、多目的広場を整備し、平成15年完成を予定している。

●サッカー場 (天然芝・13,000人収容)  
●陸上競技場 (インフィールド天然芝・3,000人収容)  
●多目的広場 (サッカーコート2面・内1面天然芝)

**第3回全日本女子ユースサッカー選手権大会 静岡県選抜 準優勝!!**

佐野 弘子 藤枝高校2年

小林 妙妃 藤枝西高校1年  
岡村 麻衣子 藤枝高校3年  
吉添 理恵子 藤枝西高校3年

**平成11年度 静岡県合宿強化練習 参加**

植松 弘樹 藤枝東高校2年

高井 栄利 藤枝東高校1年  
岡村 優佑 藤枝東高校2年  
小林 慶之 藤枝東高校2年  
杉本 剛士 藤枝東高校2年  
杉本 康介 藤枝東高校2年

**U-12 ナショナル トレーニングセンター 参加**

山本 真希 大津小学校6年  
西形 勇人 青島小学校6年  
西形 尚城 藤枝東高校2年

**第4回 東海女子ジュニアユースサッカー選手権大会 静岡県選抜で出場**

佐藤 シェンネン 藤枝東高校3年

遠山 さゆり 清水FC女子 (西原中学校3年)  
松野 みどり 清水FC女子 (六倉中学校3年)  
池田 瑞穂 清水FC女子 (大井川中学校3年)

今秋強化合宿に参加して、今春はU-12ナショナルトレーニングセンターに参加し、強化練習を行いました。多くの選手が、この機会に、サッカーの楽しさや、チームワークの大切さを実感し、今後の練習に活かすことができたのではないかと、選手たちは話していました。

高井 栄利 藤枝東高校1年  
岡村 優佑 藤枝東高校2年  
小林 慶之 藤枝東高校2年  
杉本 剛士 藤枝東高校2年  
杉本 康介 藤枝東高校2年

意識の違いを感じた。レベルの高さ、特にパスやドリブルの速さや正確さ、また、ゴールキーパーの動きの速さや正確さ、これらは、これまで経験したことのないもので、自分たちのレベルを上げるために、今後、もっと練習が必要だと感じました。

山本 剛 藤枝中学校3年

# 世界に羽ばたけ! 郷土の勇者たち

**中西部 ヤングサッカーニュース**

発行責任者 中西部サッカー協会理事長 鎌田昌治  
企画構成編集責任者 滝本善三郎 印刷 共立印刷

2001 1

## 近づく祭典 W杯



### 熱戦の舞台

2002年FIFAワールドカップ日本・韓国 静岡開催会場  
**小笠山総合運動公園 静岡スタジアム エコパ**

袋井市と掛川市にまたがる小笠山の北西麓に整備中の小笠山総合運動公園に建設されている静岡スタジアムエコパ。ここが日韓共催の2002年ワールドカップの静岡会場となる。1次リーグ2試合と準々決勝1試合が行われる。2層式のスタンドで、収容人数は51,349人。(固定席46,113人、最前列に設置される可動席5,236人)屋根が固定席全てを覆う。今年3月に完成を予定している。



**名波 浩** (ツエビロ登田)  
日本が優勝して昨年のアジアカップのMVP、日本の次の要としてチームの上位進出に貢献。西益津小→西益津中→藤枝東高→中央大



**渡辺 毅** (柏レイソル)  
判断力と堅実なプレーが光る。DFの柱としてチームの上位進出に貢献。西益津小→西益津中→藤枝東高→中央大



**久保山 由清** (清水エスパルス)  
FWとして更なる得点力アップが期待される。ゴール前のテクニシャン。東益津小→東益津中→静岡学園高



**山田 暢久** (湘和レッドダイヤモンズ)  
右アウトサイドのアタッカー。ドリブル突破から攻撃の基点となる。稲葉小→藤枝中→藤枝東高



**石井 俊也** (浦和レッズ)  
ボランチとして、的確なポジションニングで相手の攻撃を断ち切る。大洲小→大洲中→静岡学園高

**成岡 翔** (藤枝東高校) 2年  
昨年、東洋のサッカーフェスティバルで16歳最年長として世界大会出場を決めた。今年もワールドカップの月、自分の力を試す機会を得た。今年も世界大会に出場したい。

### ワールドカップ公認キャンプ地 藤枝誘致を成功させよう!

2002ワールドカップキャンプ地藤枝誘致委員会

2002年にワールドカップが開催され、その大会に日本代表として出場する選手たちが、練習のために、日本の各地にキャンプ地を設ける。藤枝市は、その候補地の一つとして、誘致活動を行っている。この活動は、藤枝市のサッカー界を盛り上げ、地域の活性化を図るための重要な取り組みである。

| 公認キャンプ地藤枝の予定施設 | 施設概要                |
|----------------|---------------------|
| トレーニング施設       | 藤枝総合運動公園サッカー場 陸上競技場 |
| 宿泊施設           | 藤枝エミナール 健康ランドホテル    |
| 雨天練習場          | 藤枝市民体育館             |
| ブルーム           | 大洲市民温水プール           |
| トレーニング         | 藤枝エミナール内もしくはサッカー場内  |

### 藤枝総合運動公園

藤枝市は、2002年ワールドカップの開催地として、サッカーの熱戦の舞台となる。この公園は、サッカーだけでなく、野球、水泳、陸上競技など、さまざまなスポーツができる。また、環境に優しいエコパというコンセプトで、自然と調和した美しい公園となっている。

### 「情熱」を取り戻そう!

サッカーは、情熱のスポーツ。選手たちは、夢と情熱を持って、練習を重ね、試合に臨む。この情熱は、チームを盛り上げ、勝利をもたらす。我々も、この情熱を取り戻そう。サッカーを通じて、友情を深め、成長を遂げよう。

### 2002年FIFA ワールドカップ キャンプFUJIEDAサポーターズ

世界のサッカーを見たい! in FUJIEDA

大会期間中は、藤枝市に多くのサポーターが集まり、熱戦の舞台となる。我々も、この大会をサポートしよう。サポーターズとして、選手たちを応援し、大会を盛り上げよう。

**入会費**  
高校生以上 2,000円 小・中学生 1,000円  
特別会員(法人・事業所) 415,000円

**会員特典**  
・会員パス発行  
・キャンプ地藤枝誘致委員会主催イベント参加  
(3月18日開催のイベントに無料参加)  
・キャンプが実施されたときに開催されるイベントの参加

**申込方法**  
藤枝市内の郵便局、各金融機関にある専用申込用紙にてお申込みください。  
市外の方は、藤枝市教育委員会スポーツ振興課までご連絡ください。  
申込受付は2月1日より開始。  
申込受付は2月1日より開始。  
【サポーターズ募集・イベントの問い合わせ先】  
藤枝市教育委員会スポーツ振興課 TEL.054-643-3111 (内線443)

中西部

# ヤングサッカーニュース 2002 1

発行責任者/中西部サッカー協会理事長 鎌田昌治 企画構成編集責任者/滝本義三郎 印刷/共立印刷株

## WORLD CUP YEAR

### 頑張れ! 日本



名波 浩 ジュビロ磐田  
西益津小|西益津中|清水商高|順天堂大

中山 雅史 ジュビロ磐田  
岡部小|岡部中|藤枝東高|筑波大

「2002年ワールドカップ」は、あどけなく、そして、素晴らしい大会になると思います。そのために、選手たちは、一生懸命に練習をしています。応援をお願いします。

2002 ワールドカップ

|                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 日本戦日程 (1次ラウンド)    | 静岡スタジアム・エコパ開催の試合日程    |
| 6月4日(火) VS ベルギー   | 6月11日(火) カメルーン VS ドイツ |
| 6月9日(日) VS ロシア    | 6月14日(金) ベルギー VS ロシア  |
| 6月14日(金) VS チュニジア | 6月21日(金) 準々決勝         |

**河村 優**  
水戸ホーリーホック  
大井川東小|大井川中  
(EWSFC)|藤枝東高

**佐賀 一平**  
モンテディオ山形  
西岡北小|札幌JFC  
札幌羊丘中|藤枝東高

**大石 鉄也**  
ヴァンフォーレ甲府  
大井川西小|大井川中  
|静岡学園高

**鈴木 良和**  
湘南ベルマーレ  
葉梨小|東海大一中  
東海大翔洋高



河村 崇大 ジュビロ磐田  
六会小一六会中一常葉菊川高 (ジュビロ磐田ユース)



久保山 由清 清水エスパルス  
東益津小一東益津中一静岡学園高



朝比奈 伸 ガンバ大阪  
大洲小一大洲中一清水商高一同志社大



石井 俊也 浦和レッドダイヤモンズ  
大洲小一大洲中一静岡学園高



山田 暢久 浦和レッドダイヤモンズ  
稲葉小一藤枝中一藤枝東高



渡辺 毅 柏レイソル  
西益津小一西益津中一藤枝東高一中央大

**長谷部 誠**  
青島東小|青島中  
藤枝東高|浦和レッドダイヤモンズ

僕が浦和レッズに入るまでには、たくさんの方の支援がありました。小・中・高、それぞれのコーチや先生に出会い、その出会いが多岐にわたって育つてきました。特に自分自身は環境やコーチなどに恵まれていました。サッカーを通じていろいろな出会いがあったことには感謝しています。僕はこれから新しい世界があります。この「サッカー」の道を歩んでいきたいです。応援をお願いします。



**石川 竜也**  
西益津小|西益津中|藤枝東高  
筑波大|鹿島アントラーズ

新年あけましておめでとうございます。今年は、二年目、プロ選手としての姿勢、心構えなどを学び、一人の人間としても大きく成長できるようにしたいと思っています。一日一日を大切にしながら、早くレギュラーとしてチームに貢献できる選手になりたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

**プロの道へステップアップ**  
今季、新しくリリーガーとしてプロの道へ踏み出す2人の選手

Photo: 佐藤裕子



中西部

# ヤングサッカーニュース 2003 1

発行責任者/中西部サッカー協会理事長 鎌田昌治 企画構成編集責任者/滝本義三郎

## 日本の蒼き勇者となれ!

日韓其のW杯が終わり、ジーコ監督の下、中山雅史選手、山田暢久選手、2006年のW杯ドイツ大会に向けて新たな調子を考慮し昨年は代表選出を見送られたが、今後の選出が期待される名波浩選手、彼をスタートを切った日本代表。そこに選ばれた



山田 暢久 浦和レッドダイヤモンズ MF  
稲葉小一藤枝中一藤枝東高



中山 雅史 ジュビロ磐田 FW  
岡部小一岡部中一藤枝東高一筑波大



名波 浩 ジュビロ磐田 MF  
西益津小一西益津中一清水高高一順天堂大

### ジュビロ磐田・鈴木政一前監督が語る2選手

ゲームコントロール者  
名波 浩選手

ゲームコントロール者  
名波 浩選手

### チームリーダー

中山雅史選手

### 山田暢久選手

2003年の決意



大井健太郎 藤枝東高校3年 DF  
高洲南小一高洲中(ACMブルックスFC)  
(ジュビロ磐田入団)

## YOUNG JAPAN

昨年のU-20アジア選手権に出場した成岡翔選手、大井健太郎選手の2人は、今年からプロの厳しい道に進む。プロ2年目の長谷部誠選手も昨年はU-19日本代表候補の合宿に何度も参加した。3人は共に今年3月のワールドユース選手権の出場を目指している。そして、オリンピック代表など上の代表へと飛躍すべき年を迎えた。



成岡 翔 藤枝東高校3年 MF  
六小一六中(EWS・FC)  
(ジュビロ磐田入団)



長谷部 誠 浦和レッドダイヤモンズ MF  
青島東小一青島中一藤枝東高

新年明けましておめでとうございませう。昨年は浦和レッズに入団し、大きな怪我もなくプレーする事ができました。今年の自分の目標は大きく分けて2つあります。まずは浦和で常に試合に出場する事です。もう一つは、U-20日本代表に入りワールドユースに出場する事です。去年の最終予選には直前に外れてしまいました。この年代のMFには優れた選手が揃っています。しかし、自分も負けない位の物を持っていると自負している。厳しい競争の中で絶対に勝ち残るよう頑張りたいと思います。今年も応援の程よろしく願います。

今高校サッカーを振り返ってみると、ぼくは本当に思っていたよりも大変な事だと思えます。試合には多くの人が応援に来てくれたし、学校側も文化祭の日をすらすらと全休してきてくれました。そして服部先生をはじめ、素晴らしい指導者、スタッフの方々に会うことができました。このように環境の中でサッカーができる高校は全国でも少ないでしょう。そんな中で3年間サッカーができたことを、今年からは、この3年間で学んだことをいかして、プロとして頑張っていきたいと思えます。プロになるというのは、ほんの小学生の頃からの目標だったのだ、とても楽しみです。これから、日々の練習に励み、少しでもレベルを上げることで、応援するように頑張りますので、応援して下さい。

中西部

# ヤングサッカーニュース

2004  
1

発行責任者/ (財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長 鎌田昌治 企画構成編集責任者/ 滝本義三郎

## 頑張れ!! 中西部を巣立ったJリーガー

### アテネ五輪アジア最終予選、ドイツW杯アジア予選と、世界に向かう注目の大会が続く。

**成岡 翔** 1984・5・31生  
六合小→六合中(EWWSFC)→藤枝東高

あけましておめでとうございませう。2003年を振り返ってみると、たくさんの事を経験できた1年だったと思っております。プロ1年目、初めてのシーズンを過ごしました。自分の思った以上の早さでデビュー戦をむかえ、2試合に試合出場し、自分なりに結果はベスト8で終わりました。

最初はジュビロのサッカークラブに所属していましたが、練習の厳しさを体感したため、2003年11月に自分自身でチームを立ち上げました。最初はジュビロのサッカークラブに所属していましたが、練習の厳しさを体感したため、2003年11月に自分自身でチームを立ち上げました。



Photo/Y.F.C.JUBILO/A-KUBO



©T.YAMAZOE

あけましておめでとうございませう。2003年は、自分自身にとって大変充実したシーズンとなりました。所属する浦和レッズではヤマザキナビスコカップで優勝し、自己最高の活躍ができました。また、日本代表でも11試合に出場することができ、特にフランス代表でのレギュラー獲得という2つの大きな目標が実現しました。今年は、ドイツワールドカップに向けて、浦和レッズで活躍し、自分自身が目標とした活躍がしたいと考えています。



Photo/Y.F.C.JUBILO/A-KUBO



©T.YAMAZOE

**石井 俊也** 1978・1・19生  
大洲小→大洲中→静岡学園高→浦和レッドダイヤモンズ

**石川 竜也** 1979・12・25生  
西益津小→西益津中→藤枝東高→筑波大

**久保山 由清** 1976・7・21生  
東益津小→東益津中→静岡学園高→横浜フリューゲルス

**渡辺 毅** 1972・9・10生  
西益津小→西益津中→藤枝東高→中央大

**岡田 佑樹** 1983・10・4生  
藤枝中央小→藤枝中(EWSFC)→藤枝東高→中央防犯藤枝SC

**鈴木 良和** 1982・6・1生  
養梨小→東海大一→東海大翔洋高

**大石 鉄也** 1979・11・26生  
太井川西小→太井川中→静岡学園高→川崎フロンターレ→ヴァンフォーレ甲府

**朝比奈 伸** 1976・8・20生  
大洲小→大洲中→清水商業高→同志社大→ガンバ大阪

**名波 浩** 1972・11・28生  
西益津小→西益津中→清水商業高→順天堂大

**大井 健太郎** 1984・5・14生  
高洲南小→高洲中(ACMブルックスFC)→藤枝東高

**河村 崇大** 1979・10・4生  
六合小→六合中→常葉菊川高(ジュビロ磐田)→クラブアトレティコパレイト(アルゼンチン)

**中山 雅史** 1967・9・23生  
岡部小→岡部中→藤枝東高→筑波大

中西部

# ヤングサッカーニュース

# 2005 1

発行責任者/(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長 鎌田昌治 企画構成編集責任者/滝本義三郎

## 世界に羽ばたけ!! 中西部の星



長谷部 誠  
浦和レッドダイヤモンズ MF  
1984・11・18生  
青島東小→青島中→藤枝東高

みなさんあけておめでとうございます。これからもこの賞に恥じないプレーをしていきたいと思っております。今年、Jリーグもミスブレイクが続き、厳しい戦いになります。長く残るシーズンとなりました。勝ち取りたいと思います。個人としては、ナビスコカップでのニューヒーロー賞やリーグでのベストイレブンに選んで頂いて、すごく頂戴しました。今、こうして自分自身がJリーグでプレーできている事に、本当に感謝しています。

これからも応援よろしくお願ひ致します。

ワールドカップ・アジア最終予選を控える今シーズン、中西部から果立ったJリーガーたちの活躍に期待がかかる。昨年、Jリーグのセカンドステージ優勝した浦和レッズで、主将としてチームをまとめた山田暢久選手、3年目にしてチームの主力となった長谷部誠選手。また、ジュビロ磐田において、7年間地道にトレーニングに励み試合の出場機会を増やしていった河村崇大選手、更なる飛躍を期待して、今シーズンにかけ思いを凝らして頑張ろう。



山田 暢久  
浦和レッドダイヤモンズ MF  
1975・9・10生  
稲葉小→藤枝中→藤枝東高

あけておめでとう。Jリーグ準優勝、セカンドステージ優勝、そしてチャンピオンシップでは惜しくも準3位、ナイスゴールを獲得する事ができた。しかし、全体的に不振というところでは、キャプテンとしてホーム駒場スタジアムでセカンドステージ優勝カップを掲げたことがとても印象に残っています。長年、苦勞を重ねてきた駒場で優勝が決まって、多くのファンやサポーターとともに喜びを分かち合えて、本当に感動感激しました。2005年は、昨年取れなかったタイトルを取るといって、昨年以上にがんばっていきたく思います。

中西部のみならず、今シーズンに優勝したいと思っています。応援よろしくお願ひ致します。



河村 崇大  
ジュビロ磐田 MF  
1979・10・4生  
六小→六中→常葉菊川高→ジュビロ磐田ユース→ジュビロ磐田MF

あけておめでとう。Jリーグ準優勝、セカンドステージ優勝、そしてチャンピオンシップでは惜しくも準3位、ナイスゴールを獲得する事ができた。しかし、全体的に不振というところでは、キャプテンとしてホーム駒場スタジアムでセカンドステージ優勝カップを掲げたことがとても印象に残っています。長年、苦勞を重ねてきた駒場で優勝が決まって、多くのファンやサポーターとともに喜びを分かち合えて、本当に感動感激しました。2005年は、昨年取れなかったタイトルを取るといって、昨年以上にがんばっていきたく思います。

Photo: Y.F.C. JUBILO



谷澤 達也  
柏レイソル MF  
1984・10・3生  
大井川東小→大井川中(EWS・FC)→静岡学園高



石川 竜也  
鹿島アントラーズ DF  
1979・12・25生  
西益津小→西益津中→藤枝東高→筑波大



久保山 由清  
清水エスパルス FW  
1976・7・21生  
東益津小→東益津中→静岡学園高→横浜フリューゲルス



大井 健太郎  
ジュビロ磐田 DF  
1984・5・14生  
高洲南小→高洲中(ACMブルックスFC)→藤枝東高



成岡 翔  
ジュビロ磐田 MF  
1984・5・31生  
六小→六中(EWS・FC)→藤枝東高



名波 浩  
ジュビロ磐田 MF  
1972・11・28生  
西益津小→西益津中→清水商業高→順天堂大



中山 雅史  
ジュビロ磐田 FW  
1967・9・23生  
岡部小→岡部中→藤枝東高→筑波大

# 創刊号から200号までの 思い出に残る記事



## 1988（昭和63年）

4月20日創刊 第1号ヤングサッカーニュース発刊にあたって  
藤枝市役所 日本リーグ2部昇格  
ヤングサッカーニュース創刊を祝す関係者のご挨拶  
中西部サッカー協会役員・編集委員  
中西部トレセン特集 トレセンの誕生（中・高校生） 金曜トレセン（中学）開講  
山田暢久選手（藤枝中）・石川有一選手（青島北中）が活躍 第2回世界少年大会 日本代表優勝  
「サッカーと私」連載（山本直平氏・増田晴雄氏・松本博之氏・松永信夫氏・後藤美喜保氏）  
中西部4選手活躍 第43回国民体育大会少年の部 静岡県選抜2年連続V  
藤枝中学校初優勝 第9回さなるカップ静岡県中学一年生大会  
ブラジル研修報告（滝本義三郎氏）

## 1989（平成元年）

新しい時代に飛躍を 頑張れ中西部イレブン 中西部役員抱負  
コーチングスクール合格者一覧  
「サッカーと私」（佐野朱美さん・深津純江さん）  
中西部サッカー協会新会長 松田真平氏ご挨拶  
高校総体清水の壁は厚かった  
中西部地区サッカーを斬る（有識者座談会）  
第16回藤枝J C杯全国少年サッカー大会 全国規模の大会に  
小山淳選手（藤枝中）活躍 世界少年大会'89 日本2年連続の栄冠  
オーストラリア・ペンリス市からサッカー使節団来藤 藤枝市中学選抜対ペンリス市選抜試合

## 1990（平成2年）

平3高校総体静岡県開催へ中西部高校の強化  
藤枝中央SS初優勝 第5回静岡ジュニア選手権大会（5年生）

中西部トレセン初の海外遠征 韓国ソウル市へ（小・中・高校生）技術交流実現

藤枝市中学選抜チーム オーストラリア・ペンリス市へ遠征

藤枝中学校優勝 全国大会へ 高円宮杯第2回全日本ジュニアユース選手権東海大会

中央防犯V2達成 第26回全国社会人選手権大会

藤枝市郷土博物館企画展「サッカーのまち藤枝」紹介

「鈴木路子レポート」で藤枝サッカーの歴史連載始まる



全日本ジュニアユース優勝 藤枝中

## 1991（平成3年）

藤枝中学校全国制覇 高円宮杯第2回全日本ジュニアユース選手権大会

平3総体に郷土の代表を

藤枝で「優勝の集い」開かれる

中西部選抜韓国遠征（小・中学生）

ジーコ選手（住友金属） 第5回ふれあいサッカーカーニバルに出場（中央防犯対住友金属）

## 1992（平成4年）

君の未来にキックオフ 今年注目の選手たち

輝け 中西部のサッカーのために

中西部選抜韓国遠征（小・中学生）国際試合を通して一層レベルアップ

藤枝東高校優勝 東海総合体育大会

藤枝東高校22年ぶり全国制覇 高円宮杯第3回全日本ユース選手権大会

中央防犯ACM藤枝SC JFL2部優勝・1部昇格

## 1993（平成5年）

育て夢あるプレーヤー 少年団指導者 新年の抱負

全国大会出場をめざせ 中学校監督 新年の抱負

第1回藤枝市長杯ジュニアユース大会開催

静岡県高校選抜ヨーロッパ遠征

大富サッカースポーツ少年団 文部大臣賞を受賞

中央防犯FC藤枝ブルックス Jリーグへ検討準備会初会合



## 1994（平成6年）

藤枝東高校 ヨーロッパへ初の遠征へ・遠征報告  
中学生部強化計画について（財静岡県サッカー協会技術委員会）  
中西部トレセン（中学）ドイツへ遠征・遠征報告

## 1995（平成7年）

地元出身Jリーガーからのメッセージ  
榛原高校全国大会初出場 第4回全日本高校女子選手権大会  
オール島田初優勝 第26回東海小学生選手権静岡県大会 東海大会出場

## 1996（平成8年）

オール島田初優勝 第22回静岡県つま恋少年大会  
榛原高校 第5回全日本高校女子選手権大会 2年連続出場  
中西部4選手が貢献 第1回全日本女子ジュニア選手権大会 静岡県選抜準優勝  
第1回東西大学交流サッカー大会開催  
島田プリンス 第10回フジパンCUPジュニア大会 県大会優勝・東海大会準優勝  
中西部トレセン女子優勝 第27回東海小学生選手権大会



東海小学生大会優勝 中西部トレセン女子

## 1997（平成9年）

足木貴彦選手（青島中） U-15日本代表候補30名に選ばれる  
女性2級審判員誕生 鈴木可奈子さん・長野可奈子さん  
中西部5選手、優勝に貢献 第2回全日本女子ジュニア大会 静岡県選抜優勝  
第1回島田市内4高校オーストラリア遠征 サッカークリニックに参加して  
細江SS優勝 第7回全日本フットサル県大会 全国大会出場権獲得  
葉梨SS 第11回フジパンCUPジュニア大会 県大会優勝・東海大会第3位  
中西部6選手活躍 第52回国民体育大会少年男子の部 静岡県選抜2連覇  
藤枝東高校13年ぶり全国大会へ 第76回全国高校選手権静岡県大会優勝  
「鈴木路子のもっと知りたいサッカー」連載開始



高校選手権県大会優勝 藤枝東高

1998 (平成10年)

藤枝東高校全国第3位 第76回全国高校選手権大会

石川竜也・青嶋晶・河村優の3選手が日本高校選抜に選ばれる

細江SS全国準優勝 パーモントカップ第7回全日本少年フットサル大会

ACMブルックスFC準優勝 東海クラブユース(U-15)新人大会

榛原高校初優勝 静岡県高校女子新人大会

藤枝東高校16年ぶりに夏の全国大会へ 静岡県高校総合体育大会優勝

藤枝西高校優勝・榛原高校準優勝 第7回全日本高校女子選手権東海大会 共に全国大会へ

藤枝東高校全国優勝 高円宮杯第9回全日本ユース選手権大会

中西部中学トレセン優勝 第10回浜松市招待ジュニアユース大会

中西部勢7選手貢献 国民体育大会成年男子 静岡県選抜第3位



全国高校選手権 藤枝東高表彰式



県高校女子新人大会優勝 榛原高校



全日本ユース優勝 藤枝東高



藤枝東高の全日本ユース決勝のスコアボード

1999 (平成11年)

深津敏夫氏・長谷川二三氏 勲静岡県体育協会創立70周年記念表彰

藤枝明誠高校初優勝 静岡県高校新人大会

中西部トレセン (中学2年) 優勝 第11回ジュビロ磐田JYカップ地区代表選手大会

石川竜也選手(筑波大・藤枝市出身)快挙に貢献 ワールドユース選手権 U-20日本代表準優勝

藤枝西高校女子初優勝 静岡県高校総合体育大会

成岡翔・阿部文一郎両選手 U-15日本代表イタリア遠征

榛原FC全国大会初出場 第23回全日本少年大会県大会準優勝

藤枝西高校全国第3位 第8回全日本高校女子選手権大会

藤枝FCバンビーズ 第13回フジパンCUPジュニア大会 県大会初優勝・東海大会準優勝



県高校新人大会優勝 藤枝明誠高



全日本少年大会 全国出場を決めた榛原FC



全日本高校女子選手権第3位 藤枝西高



フジパンCUP東海大会で準優勝 藤枝FCバンビーズ

## 2000（平成12年）

萩原昌明中西部支部新会長 就任ご挨拶

トレセン活動のテーマ

藤枝西高校女子2連覇 静岡県高校総合体育大会

鎌田昌治中西部支部新理事長 就任のご挨拶

藤枝西高校3年連続全国大会へ 第8回全日本高校女子選手権東海大会V3

成岡翔選手（藤枝東高）U-16日本代表 アジアユース決勝大会出場

佐野弘子選手（藤枝西高）U-18日本女子選抜 米国アディダスカップ出場

中西部選抜出場 ワールドカップ日韓・静岡開催記念第1回静岡世界U-12大会開催

藤枝FCバンビーズ 第14回フジパンCUPジュニア大会 県大会優勝・東海大会初優勝

中西部5選手活躍 第55回国民体育大会少年の部 静岡県選抜準優勝

岡部サッカースポーツ少年団 文部大臣賞受賞

矢崎バレンテFC初優勝 第35回東海社会人リーグ 全国地域リーグ決勝大会出場



県高校総体2連覇 藤枝西高



フジパンCUP東海大会で初優勝  
藤枝FCバンビーズ

## 2001（平成13年）

ありがとうサッカー 高校3年生の思い出

2002ワールドカップキャンプ地藤枝誘致委員会日より

藤枝東高校・藤枝西高校女子 静岡県高校総合体育大会アベック優勝

遠山さゆり選手（藤枝西高）U-18日本女子代表に選出 アディダスカップに出場

第1回深津敏夫杯・第6回中西部女子選手権大会開催

藤枝東高校全国準優勝 全国高校総合体育大会

六合SS初優勝 2001フジパンCUPジュニア静岡県大会 東海大会出場

藤枝西高校全国第3位 第9回全日本高校女子選手権大会

藤枝FC6年優勝 第28回藤枝JC杯争奪全国少年大会

U-17日本代表 成岡翔選手・大井健太郎選手（共に藤枝東高）に聞く U-17世界選手権を終えて

第56回国民体育大会 静岡県成年男子・少年男子ダブルV 中西部5選手が優秀選手に（少年男子）

静岡産業大学全国大会初出場 東海地区大学女子選手権大会準優勝

藤枝市役所優勝 第36回東海社会人リーグ 第25回全国地域リーグ決勝大会出場



藤枝東高・藤枝西高女子  
全国大会出場壮行激励会



全国高校総体準優勝 藤枝東高



全日本高校女子選手権第3位 藤枝西高



## 2002（平成14年）

中西部6選手が貢献 第5回全日本女子ユース（U-18）選手権大会 静岡県選抜第3位  
 ありがとうサッカー 高校3年生の思い出  
 中西部3選手が貢献 第6回全日本女子ユース（U-12）選手権大会 静岡県選抜第3位  
 藤枝総合運動公園開園式  
 セネガル代表が藤枝にやってくる ワールドカップ準備キャンプ  
 熱戦続く 2002 F I F AワールドカップTM 日本代表 中山雅史選手  
 藤枝西高校女子4連覇 静岡県高校総合体育大会  
 大井健太郎・成岡翔両選手（共に藤枝東高） A F C ・ U-20選手権1次予選出場  
 長原克弥・赤星貴文両選手（共に藤枝東高） A F C ・ U-17選手権1次予選出場  
 藤枝西高校5年連続全国大会出場 第11回全日本高校女子選手権東海大会優勝  
 青島東SS 2002フジパンCUPジュニア大会 県大会優勝・東海大会第3位  
 中西部勢9選手活躍 第57回国民体育大会少年男子 静岡県選抜準優勝  
 第38回全国社会人サッカー選手権大会(国体リハーサル大会) 藤枝で開催 中央防犯藤枝SC出場  
 大井川中学校初優勝 第8回静岡県ジュニアユースフットサル大会 東海大会へ  
 静岡産業大学初優勝 東海地区大学女子選手権大会 2年連続全国大会出場  
 「技術委員会より」(田村和彦中西部技術委員長)連載



藤枝総合運動公園 開園式 セネガル駐日大使らがテープカット



セネガル代表 ワールドカップ準備キャンプ 柏レイソルと親善試合



県高校総体優勝 藤枝西高女子



フジパンCUP東海大会第3位 青島東SS



静岡国体初戦に臨む成年男子



東海地区大学女子選手権2連覇 静岡産業大学



全国高校選手権県大会優勝 藤枝東高

## 2003（平成15年）

中西部7選手が出場 第6回全日本女子ユース（U-18）選手権大会 静岡県選抜準優勝  
 ありがとうサッカー 高校3年生の思い出  
 佐野弘子選手（田崎ペルーレ・島田市出身）日本女子代表に選出  
 藤枝東高校 J F A プリンスリーグU-18東海へ参戦  
 藤枝東高校2年ぶりに全国へ 静岡県高校総合体育大会優勝 東海総体も優勝  
 N E W!!わかふじ国体 成年男子の部藤枝で開催 高円宮妃殿下久子様ご来藤  
 藤枝明誠高校初優勝 静岡県ユースリーグAリーグ プリンスリーグ参入戦に出場  
 内藤大佑選手(藤枝FC) U-12日本選抜 ダノン・ネーションズカップU-12世界大会に出場  
 静岡産業大学2連覇 東海地区大学女子選手権大会 全国大会3年連続出場  
 藤枝東高校優勝 6年ぶりに全国へ 第82回全国高校選手権静岡県大会

## 2004 (平成16年)

中西部 8 選手が貢献 第 7 回全日本女子ユース (U-18) 選手権大会 静岡県選抜初優勝

1 級審判員誕生 田尻智計氏・数原武志氏

ありがとうサッカー 高校 3 年生の思い出

J F A キッズプログラム 中西部でも 3 事業を実施

中西部トレセン優勝 (中学 2 年) 第 16 回ジュビロ磐田 J y ユース地区代表選手大会

第 1 回中西部ジュニアユースリーグ実施にあたって (菊田秀樹中西部 3 種委員長)

藤枝東高校 2 連覇 全国大会出場 静岡県高校総合体育大会 東海総体も連覇

藤枝順心高校初優勝 静岡県高校総合体育大会

藤枝順心高校全国大会初出場 第 13 回全日本高校女子選手権大会 東海大会初優勝

藤枝東 F C 初優勝 第 16 回日本クラブユース選手権 (U-15) 静岡県大会 東海大会へ

萩原昌明中西部支部会長 瑞宝小綬章受賞

藤枝市役所 地元開催で 22 度目の優勝 第 34 回全国自治体職員選手権大会 藤枝で開催

藤枝東高校 高円宮杯第 15 回全日本ユース (U-18) 選手権大会 6 年ぶりの出場

藤枝で熱戦 A F C ・ U-17 選手権大会開催

中西部 4 選手が貢献 第 59 回国民体育大会少年男子の部 静岡県選抜 3 年ぶりの優勝

矢崎バレンテ F C 優勝 第 39 回東海社会人リーグ 全国地域リーグ決勝大会出場

F C 島田 第 3 位 第 1 回日本ハム杯東海ユース U-11 ・ U-12 8 人制大会

静岡産業大学全国大会 4 年連続出場 東海地区大学女子選手権大会準優勝

焼津南サッカースポーツ少年団 「生涯スポーツ優良団体」受賞

藤枝東高校優勝 2 年連続で全国へ 第 83 回全国高校選手権静岡県大会

Estrelado / 焼津フットサル倶楽部初優勝 第 10 回全日本フットサル選手権静岡県大会

「コンディショニングアドバイス」連載開始



ジュビロカップ優勝 中西部トレセン



県高校総体初優勝 藤枝順心高



日本クラブユース (U-15) 県大会初優勝  
藤枝東 FC



全国自治体職員大会 地元で優勝  
藤枝市役所



全国高校選手権県大会優勝 藤枝東高



AFC ・ U-17 日本 vs 朝鮮民主主義人民共和国  
(藤枝総合運動公園サッカー場にて)

## 2005 (平成17年)

中西部 12 選手が貢献 第 8 回全日本女子ユース (U-18) 選手権大会 静岡県選抜 2 連覇

ヤングサッカーニュース 200 号記念誌発刊 新たな挑戦